(p. 250) ト改メラレタ。くちばしぐさニ就テハ, *Ruella antipoda* L. ノ原記載ヲ再吟味シタ結果明カニ本種ノ特徴ヲ示シテ居ルト考へ, コレニ基イタ *Lindernia antipoda* (L.) Alston ヲくちばしぐさニ用キテ居ルガ(p. 253), リンネノ原標本ハ見テ居ナイ。すずめのたうがらしもどきハ *L. ciliata* (Colsmann) Pennell (p. 253) ノ名テ新組合セトシテ發表シテ居ルガ, コレハ私モ指摘シタ如ク Brittonja 2 : 182 (1936) ニ發表サレテ居ル。*L. antipoda* ノ學名ガくちばしぐさニ用ヒラレルト, すずめのたうがらしノ學名ガ再ビ問題ニナルガ彼ハコレニ對シ *L. anagallis* (Burmann) Pennell (p. 252) ノ新組合セヲ作ツタ。併シすずめのたうがらしニ就テハ私ガ既ニ極メテ多形デ再研究ヲ要スルト述ベタ樣ニ未ダ色々ノ疑問ガ殘ツテ居ル。卽チコノ組合セノ基ニナツタノハ *Ruellia Anagallis* Burmann (1768) デアルガ, Pennell ハコノ種ノ基準ヲ Rumphius, Herb. Amboin. 5 : 460, t. 170, f. 2 (1747) ト考ヘテ解釋ヲ下シテ居ルガ, Hochreutiner (1934) ニヨレバ Herb. Delessert ニ Burmann ノ基準標本ガアリソレハ *Gratiora grandiflora* Retz. ト同形デアルト云フ。少クトモすずめのたうがらしハ *L. Anagallis* ト全ク同型デハナク, 變種位ニハ區別スベキモノト思ハレル。こみぞほほづきノ學名ハ *Torenia violacea* (Azaola) Pennell (p. 255) ト變更サレタ。

○をかとらのをノ葉ノ着キ方 (原　寛)

をかとらのをノ主莖ハ直立シ單一デ, 葉ヲ明瞭ニ互生シテ, 莖頂ニ總狀花序ヲ着ケル。往々上部ノ葉腋ニ短イ枝ヲ出シテ 2—4 枚ノ小形ノ葉ヲ對生シテ居ルガ, コノ枝ハ通常延ビズ餘リ目立タナイ。トコロガ主莖ガ刈リ取ラレタリ, 又先端ガ蟲害デ傷メラレタリスルト, 殘ツタ主莖ノ葉腋カラ數本ノ側枝ガ勢ヨク長ク延ビテ來テ, 稀ニハ頂ニ花序ヲ着ケル。ソウシテコノ枝デハ葉ハ多少ズレル事モアルガ概ネ對生シテ居ル。ソレ故カヤウナ枝ダケヲ折リ取ツテ來ラレルト一寸何ダカ面喰フ事ガアル。殊ニ主莖ガ早期ニ下部カラ刈ラレタ樣ナ場合ニハ注意シテ採集シナイト分ラナイ。コノ樣ナ事ハ同屬ノ他種ぬまとらのをヤのぢとらのをデモ見ラレル。むかへばぬまとらのをト云フ名ノツイタモノモ主莖ガ傷メラレ側枝ガ延ビテ花序ヲ着ケタ標本デアル。

○雜誌複刊及創刊

日本植物學會ノ機關誌デアル植物學雜誌ハ昭和 19 年3月第 58 卷第 687 號ヲ配布シタ後ハ暫ク發行ガ停止シテイタ。ソノ後種々ノ努力ノ末ニ昭和 19 年6月發行サレタモノガ昭和 21 年5月北隆館ニヨツテ發賣且ツ配布サレ 58 卷ハコレデ終リトシ昭和 21 年ニ 59 卷ヨリ發行スルコトトナツタ。

札幌ノ北方出版社ヨリ生物學研究機關誌ノ生物ガ昭和 21 年2月創刊サレタ。主幹ハ内田亨氏, 編輯ハ北海道帝國大學理學部動物學教室ノ牧野佐二郎氏デアル。本誌ハ生物學全般ニワタル研究論文ソノ他ノ發表機關トシテ一般ニ開放サレテイル。一年6回隔月發行ノ豫定デ 21 年中ニ 5 册 (5 册目ハ 5—6 號) 發行サレタ。定價ハ初メ年極メ 25 圓トサレタ。